

平成11年度 民有林における林業機械保有状況調査の概要について（速報値）

平成12年5月11日
林野庁技術開発推進室

林業機械の普及に資するため、毎年度、民有林の林業機械の保有台数について調査している。平成11年度（平成12年3月末現在）の保有状況（速報値）は以下のとおりである。

高性能林業機械の保有状況

- （1） 平成11年度の保有台数は、前年度の1,961台から143台増加して、2,104台（対前年度比107%）となった。前年度まで6年連続で200台以上の増加を示していた（平成10年度は234台増加、対前年度比114%）が、平成11年度は伸びが鈍化する見込み。
- （2） 機種別の保有台数は、プロセッサが最も多く814台で全体の39%を占めている。
また、増加率ではフォワーダ（対前年度比113%）がもっとも高くなっているほか、スキッダ（109%）、プロセッサ（108%）も順調な伸びを示している。
プロセッサは造材を行う機械であり、路面上や土場において、材の枝払い、測尺、玉切りを効率的に行うことができるため、もっとも導入台数が増えている。
フォワーダは作業道もしくは林地上の造材された短幹材を林道端の土場まで積載集材する車両系機械であり、間伐や小規模伐採における省力化に有効なため、増加率が高くなっている。

問い合わせ先

林野庁 研究普及課 技術開発推進室
〒100-8952 東京都霞ヶ関1-2-1
TEL (03) 3502-8111（内線6358）
 (03) 3501-5025（直通）
FAX (03) 3502-2887
担当：北村 鈴木

